更に解雇者を千五百名分配をと主張したのです。

りし職工を強要して解雇者に加へしめたるものなるが（此は
もと機械職工の中より多く出たりしなり）要するに但し員より同
情を得たる意以外にでたるものゝ如く批難せられ、且つも深
川分工場各部に對し（人員約五十名位の同情者を募らんと
したる事あり、其れがため本く一般職工の反感を買ひ、益々に
深川分工場實業部各部員中百名ありては脱会したる
結果、残る者は甚しく信用を失ひたるなり

昨日大島分会館に於て本部より理事（千葉出席を
促し會合を開きたるが、中に傀儡派、鶴見員等に對する
[illegible]抗議は實内續出（汽車會社四職業に関し）したるため、
傀儡、鶴見等は甚しく立場に窮し、一時は分会の要を貴
化を松本派に分けて其場を賑はしたりしが、然るに
松本係長内容を開陳しゝと主張するものあり、四五名のもの
は松本を攻めて詰問したるに、反って松本より傀儡、鶴岡等の
醜状を暴かれ、殊に会計に関する疑点を指摘せられたるより
益々反鶴岡、傀儡派漸く抬頭しつゝあり、何れ機械職工
の分工場の発表期近づきつゝあれば、傀儡、鶴岡の排斥問
題は具体化すべしと観測す、

大正十二年一月四日　矢作　一夫